

グローバル・カフェ×留学生センター共催「韓国イベント」を開催しました

2025年1月22日、留学生センターとの共催で「韓国イベント」を実施しました。さぬきプログラムに参加している韓国出身の Sooyeon さん、Jeongeun さん、Hyeonju さんより自国の紹介をしていただきました。留学生 14 名、日本人学生 4 名、教職員 4 名の計 22 名が参加しました。

Hyeonju さんは韓国の宗教について、国内で有力なキリスト教、仏教の他に、約 5,000 年前から続いている民間信仰(Korean Folk Religion)、シャーマニズム(Shamanism)という霊的な信仰について紹介しました。シャーマニズムとはシャーマン(霊媒師)が霊と交流し、霊的な力で、病気の治療、未来予知、祈祷などを行なう信仰であるそうです。韓国では女性のシャーマンが多く、色鮮やかな衣装を身に付け、音楽に合わせて踊りながら、儀式を行うとのこと。韓国の映画やドラマにも登場し、伝統文化の一部として受け入れられていると述べました。



Jeongeun さんは有名な観光地として、水原市(Suwon)を挙げ、世界遺産にも登録されている水原華城(Suwon Hwaseong)は、約 220 年前の 1796 年に完成した城で、約 5.7 キロの城壁を持つこと、東西南北にそれぞれ立派な門が設けられ、なかでも正門である「長安門(北門)」は現存する韓国城門の中では最大の城門であること、城内では韓国伝統弓術である「国弓(クックン)」の体験や、韓服(韓国伝統衣装)をレンタルして写真撮影が可能であることが紹介されました。また水原市に遊びに行くときに外せないのが、名物「水原カルビ(Suwon Galbi)」だそうで、かつて畜産業で栄えていた水原地区では、韓国の一般的な焼肉

カルビよりも分厚くカットするのが定番で、多くの老舗人気カルビ店が軒を連ねているそうです。新鮮なサンチュやエゴマの葉、キムチやナムルと一緒に肉を包んで食べるのがお勧めだと話してくれました。



Sooyeon さんからは、韓国の伝統的な祝日についての紹介がありました。韓国で最も重要な祝日といえば、Seollal(ソルラル)

と呼ばれる韓国の旧正月で、旧暦の1月1日にあたる日（1月下旬から2月上旬）に祝われます。韓国では3日間（前日・当日・翌日）が公休日となり、多くの人々が故郷に戻り、家族と過ごすそうです。ソルラルでは家族が集まった際に、年下の人が年上の家族に深くお辞儀をして新年の挨拶をし、お辞儀を受けた人は「Sebaetdon(セベトン)」と呼ばれるお年玉を渡すのが伝統的な習慣であると話しました。また、秋の収穫感謝祭である Chuseok(チュソク)について、旧暦の8月15日にあたる時期（毎年9月中旬から10月初旬）に祝われること、家族で先祖の墓を訪れ、墓の手入れをしながら、先祖への感謝の気持ちを表すこと、新しく収穫されたばかりの米を使って半月形の餅 Song-pyon(ソンピョン)をお供えし、収穫祭が終わると家族で分け合い食べること等が紹介されました。旧正月と同様に3日間が公休日となり、多くの人々が帰省する、日本のお盆にも似た行事であると例えました。

